

経営理念	【保育目標】おひさまと なかよし ひがしっ子 【経営目標】『子ども一人一人を大切に、保護者に信頼され、愛される保育所』をめざす ＜子ども像＞○友達とかかわり、思いやりのある子ども ○自ら遊びを作りだす子ども ○自分のことは自分でしようとする子ども ＜保育所像＞○一人一人の子どもを大切に作る保育所 ○保護者の子育てを支援する保育所 ○保幼小の連携を大切に作る保育所 ＜保育士像＞○子どもとの信頼関係を大切に作る保育士 ○保護者とのよりよい信頼関係を築く保育士 ○専門性の向上に努める保育士 ○チームワークを大切に作る保育士 ○意欲を育み環境を考える保育士
------	--

中期経営目標		短期経営目標 (評価項目)	自己評価		保育所関係者評価		改善策等
			達成状況	評価	考察	評価	
保育・教育活動の充実	○ 遊びの充実のための環境整備	① ねらいに沿って指導を適切に行い改善に努める。	週日案や月案、個人記録等だけでなく、学年間やフリーとも情報交換をしながら、今年度は必要に応じて加筆することも意識した。保育を振り返り次の保育につなげることができた。振り返りはできているが、ねらいと援助を関連づけて考えることが不十分でPDCAサイクルの定着はできていない。	B	カリキュラム会を基に職員間で共有して保育をされたことは成果につながっている。保育者のキャリアステージに応じて作成できるように長い目で指導にあたってほしい。	B	週日案や月案を基に年齢に応じて今育てたいことや大事にしていくことを園全体で共通認識して引き続き保育を行っていく。子どもの興味・関心を探り課題の把握と修正を継続できるようにPDCAサイクルで確認し保育の充実に努める。
		② 一人一人の姿を肯定的・多面的に捉え子ども理解に基づいた保育を実施。	終礼やカリキュラム会等で子どもの姿を伝え合い、クラスや学年間で日々の子どもの姿を共有し多面的に捉えることができた。子どもの発達や特性に合わせた環境を整えたり、職員間で子ども理解をしたりすることで、その子に関わる職員で関わるすることができた。	B	終礼やカリキュラム会で子どもの姿を共有することで、子どもの特性を考慮した環境設定や支援が実現できている。	B	幼児を肯定的・多面的に捉え、職員同士連携し、一人一人に寄り添った保育を引き続き行っていく。職員間で子どもの共通理解を図ることで、園全体で子どもの良さを認めていく。
		③ 子どもが夢中になって遊ぶことができる環境を工夫する。	子どもの興味や関心に合わせた素材等を工夫したことで、子どもが自ら関わり、夢中になって遊ぶ姿が増えた。戸外遊びでは、やってみたい思いに寄り添った環境を整えることで、子どもがいろいろな挑戦する姿につながった。一方で遊びが見付からない子どもに対して、その子の興味や関心に沿った環境を工夫することが不十分だった。	B	一人一人の遊ぶ姿に目を向けると家庭での生活が大きく影響していると思う。受け身で遊ぶ子どもに対していろいろな工夫を考え保育に生かしてほしい。	B	子どもの興味・関心、発達を捉え、一人一人の子どもが豊かな経験を積み重ねられるように“やってみたい”と思えるような環境の構成を工夫し、継続して取り組んでいく。
職員の育成・資質向上や運営	○ 共通課題に向かう職員の協力体制づくり	① 教材や保育環境について園全体で学び合う。	教材研究を行い、新しい教材を取り入れたことで、子どもの学びや経験の場が増えた。また、一人一人の発達や季節に応じた遊びを見直し再構成することができた。	B	計画的に教材研究に取り組んだことで、季節に合った素材に触れたり、遊びに取り入れる経験につながったと思う。環境の再構成を意識して行ったことは成果だと思う。	B	豊かな遊びを育むために継続的に教材研究や保育室・園庭の環境について学び合い、職員全体の知識を深めていけるように取り組んでいく。
		② 園全体の危機管理を理し、適切に行動できるようにする。	訓練を繰り返し行うことで職員一人一人が役割を意識して行動し、連携をとることができた。振り返りでは課題解決のために、意見を出し合い、反省したことを次にどう生かすのか具体的に考え、共通理解できた。保育所評価の設問「保育所は危機管理に対する対策を行っていると思いますか」そう思うが84%、ややそう思うが17%の評価があった。	B	避難訓練を繰り返し行い、問題点を職員間で共有できている。今後も事前事後の話し合いを大切に取り組んでほしい。	B	今年度の反省を基に危機管理マニュアルの見直しを行い、計画の中に自主防災組織と連携した訓練や様々な状況を想定した訓練を位置づけ、さらなる充実を図る。
地域に開かれた園づくり	○ 保護者や地域に親しまれる保育所づくりに努める	① 安心した子育てに向け、園全体で保護者の実態に沿った支援の実施。	参観日やクラス懇談では、保護者同士がつながるような活動の工夫や園全体で相談・報告しながら保護者ができた。しかし、個人差があり話をする機会が少ない保護者もいた。保育所評価の設問「先生は子どもさんの園での様子や成長の姿、保育所で大切にしているを分かりやすく伝えたいと思いますか」そう思うが86%、ややそう思うが12%の評価であった。	B	長時間保育の中で、担任とやり取りができる機会は少ないと思う。その中でも参観日等の行事や懇談を工夫して行ったり、日々の様子を伝える工夫をしたりしたことは、保護者との信頼関係につながったと思う。	B	保護者の子育ての不安や、悩みなど必要に応じて相談できる場を作っていく。ケースによっては関係機関につなぐなど早期対応を行い、保護者の安心感につながるように努める。
		② 行事や散歩等を通して、地域の方とつながる活動を行う。	園外保育に出かけることが少なく地域の人との関わりが少なかった。行事や絵本の読み聞かせ等で交流する機会がもて、地域の方との触れ合いを楽しむ子どもが増えた。	B	園外保育の出かけることは少なかったが、地域の方々に来ていただくことを中心とした地域とのつながりを大切にできている。	B	園外保育を計画的に行ったり、参加してもらえそうな行事には積極的に声を掛けたりするなど、地域とのつながりがもてるような活動内容を工夫し、更に多くの方に園のことを知ってもらうように計画的に取り組んでいく。

【評価基準】A: 十分満足 B: おおむね満足 C: もう少し努力すべき D: 大いに努力が必要